

# 日赤なら



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

奈良県支部



平成28年の熊本地震災害では、4月20日から1ヶ月間にわたり、公的病院の協力を得て救護班5班が益城町・嘉島町及び南阿蘇村において医療救護活動を行ない、6月には、こころのケア班が益城町で被災者支援の活動を実施しました。

県民の皆様には、赤十字事業の推進につきまして、日ごろより格別のご協力を賜わり、心から厚くお礼申し上げます。

「災害からいのちを守る日本赤十字社」と「より信頼される日本赤十字社」として、救護活動や被災者支援などの人道的な活動を行っています。奈良県支部では、「防災・減災講習」、「赤十字ボランティアや青少年赤十字の育成」、災害などで被災された方々の「救護活動」をはじめ、いざという時に役立つ「赤十字講習」や「血液事業」など、さまざまな活動を展開しています。

赤十字活動はすべて、皆さまお一人お一人からの「会費」や「寄付金」、そして多くのボランティアの方々によって支えられております。

皆さまのあたたかいご支援ご協力を賜わりますよう、心からお願い申し上げます。

## 活動資金にご協力をお願いします。

郵便局からの  
お振込の場合

口座記号番号:00950-9-105293  
加入者名義:日本赤十字社奈良県支部

※振込用紙の通信欄には、「活動資金」とご記入下さい。  
※南都銀行・JAならけんからお振込の場合は、支部へご連絡ください。振込用紙を送付いたします。  
※このほか、口座振替による「活動資金」のご協力もお願いします。



〒630-8133  
奈良市大安寺1丁目23番2号  
TEL: 0742-61-5666  
FAX: 0742-61-5756  
<http://www.nara.jrc.or.jp/>





## 災害救護活動



災害からいのちを守る

地震や台風などで災害にあわれた被災者を救うため、奈良県立病院機構（奈良県総合医療センター・奈良県西和医療センター）、南和広域医療企業団（南奈良総合医療センター）、市立奈良病院、大和高田市立病院、奈良県立医科大学附属病院と救護班派遣の委託契約を締結しています。

また、さまざまな被害を想定した訓練や研修への参加や防災ボランティアの研修に努めるほか、救援物資の配布や義援金の受付なども行なっています。



熊本地震災害の活動

## 救護資機材・救援物資の整備

南海トラフ地震などの大規模災害に備え、支部では救援物資（毛布・布団・バスタオル・緊急セット・安眠セット）の備蓄をしています。平成29年度より、「ブルーシート（3.6m×5.4m）」の備蓄を行なうこととしました。

平成28年度に引き続き、地区区分（市町村）の、災害救援車を更新します。

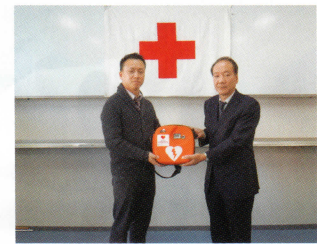
また、災害時の救護活動を円滑にできるよう、企業との物資提供の協定締結にも取り組みます。



奈良県LPガス協会と物資提供の協定を締結しました。平成29年1月23日



災害救援車を更新しました。  
平成29年1月11日  
（桜井市・葛城市・野迫川村）



AEDを更新しました。  
平成28年12月2日

桜井市、御所市、宇陀市、山添村、曽爾村、御杖村、明日香村、吉野町、下市町、下北山村、上北山村、野迫川村

## 地域や家庭で防災・減災について考えてみませんか？

東日本大震災や熊本地震災害などの災害から学んだ知識や教訓を、今後の備えとして多くの方に知っていただくため、「赤十字防災啓発プログラム」を普及しています。町内や自治会での集まりに積極的に指導員を派遣しています。

また、奈良県支部でも避難所体験プログラムを取り入れた災害時要援護者生活支援講習会を実施しています。

（詳しくは、支部にお問い合わせいただくか、奈良県支部のホームページをご覧ください。）



非常食作りの体験の様子

## 国際活動



世界とつながる

世界190の国と地域にある赤十字の一員として、災害や病気・紛争等で苦しむ人々の緊急支援や復興支援、地域保健医療活動にも協力しています。

また、東南アジアの青少年赤十字メンバーとの交流事業として、県下の青少年赤十字加盟校の中学生や高校生を募集して、相互に派遣や受け入れなどを実施して、国際理解を深める活動も行っています。



シリア難民キャンプ（ギリシャ）での活動

## 救護看護師の養成



国内外で活躍  
できる看護師の養成

豊かな人間性と看護に関する幅広い能力と、救護の専門知識を兼ね備えた看護の実践者を育成するため、大阪赤十字看護専門学校に委託し養成事業を行なっています。また、赤十字看護学生には奨学金制度も設けています。



看護専門学校での実習風景



## 青少年赤十字



思いやりを育む

将来をになう児童・生徒が、自ら「気づき・考え・実行する」という生きる力を養うため、先生等の青少年赤十字指導者の協力のもと、学校教育の現場の中で豊かな人間性や社会性を育む活動をしています。

先生等を対象とした防災教育研修・セミナーへの講師派遣や、県下全学校への防災教育教材(DVD)の配布より、学校における防災教育の普及に取り組めます。

また、加盟校独自の取り組みや意欲的な活動に対して支援(助成)制度をもうけています。

**加盟校を募集中!**



青少年赤十字トレーニングセンターでのガイドヘルプの様子



### 3つの実践目標

- ・健康・安全
- ・奉仕
- ・国際理解・親善



## 赤十字講習会



いざという時に備えて

### ～大切ないのちと健康を守るために～

「人間のいのちと健康、尊厳を守る」という、赤十字の使命に基づき、緊急時や災害時に人命を救う方法や、健康で安全に暮らすための知識と技術を広めるため、「救急法」「水上安全法」「幼児安全法」「健康生活支援講習」などの講習を実施しています。地域包括支援事業にもご利用ください。

#### 救急法講習



一次救命処置や急病や骨折など、けがの応急手当などについて学べます。

#### 健康生活支援法講習

高齢者の健康管理や介護予防について、また、生活支援や介護の方法などについて学べます。

#### 水上安全法講習

泳ぎの基本と事故防止、おぼれた人の救助方法などについて学べます。

#### 幼児安全法講習

子どもに起こりやすい事故の予防とその手当などについて学べます。

#### 災害時要援護者生活支援講習

避難所での生活支援の方法・こころのケアについて、また防災・減災のための対応などについて学べます。

※各講習会の開催日程は、奈良県支部にお問い合わせいただくか、奈良県支部のホームページをご覧ください。

## 血液事業



献血にご協力を!!

血液センターでは、県内各地で献血をお願いし、24時間体制で安全な血液を安定的に医療機関へ届けております。血液は、長い期間にわたり保存ができないため、絶えず誰かの血液が必要となります。また、献血者は年々減少傾向にあり、約10年後にはおよそ85万人分が不足すると試算されています。献血にご協力をお願いいたします。

献血場所

奈良県赤十字血液センター  
大和郡山市筒井町600-1 TEL.0743-56-6100  
<http://www.narakenketsu.jp/>  
近鉄奈良駅ビル献血ルーム  
奈良市東向中町28 奈良近鉄ビル6階  
TEL.0742-22-2122



| 献 血 基 準 | 成分献血                  |                                   | 全血献血             |                                    |
|---------|-----------------------|-----------------------------------|------------------|------------------------------------|
|         | 血漿                    | 血小板                               | 200mL 献血         | 400mL 献血                           |
| 年 齢     | 男女とも<br>18歳～69歳※      | 男性 18歳～<br>69歳※<br>女性 18歳～<br>54歳 | 男女とも<br>16歳～69歳※ | 男性 17歳～<br>69歳※<br>女性 18歳～<br>69歳※ |
| 体 重     | 男性 45 kg以上・女性 40 kg以上 |                                   |                  | 男女とも<br>50 kg以上                    |

※65歳から69歳までの方は、60歳から64歳までに献血の経験がある方に限ります。





# 赤十字ボランティア



活動を支える

## “赤十字のボランティア活動を通じて、地域社会を住みよくしよう”

という気持ちをもった人々の集まりで、年齢や性別は問わず、災害救護や献血の推進、講習会の普及や赤十字事業の推進をはじめ、地域社会のニーズに応じた幅広い活動に積極的に参加・協力しています。

参加者  
募集中!

### 地域赤十字奉仕団

全体の取組みとして、地区委員会や研修会の開催、ハンセン療養施設訪問(岡山県)と里帰り事業への協力などを行なっています。また、地域活動では、防災訓練への参加、モデル奉仕団活動、献血協力の呼びかけ、クリーンアップならキャンペーンへの参加、海外たすけあいの募金活動と受付協力などの活動のほか、老人ホームでの交流会や地域での清掃活動、活動資金の募集などに取り組んでいます。



研修会の様子

### モデル奉仕団活動



(大和高田市赤十字奉仕団)



(天理市赤十字奉仕団)



(高取町赤十字奉仕団)

### 無線・救護 赤十字奉仕団

無線技士の資格を活かし、災害時の情報収集や伝達を担うため通信訓練や救護活動を行っています。



通信訓練の様子

### 看護 赤十字奉仕団

看護師の資格を有し、公共性の高い行事への臨時救護などの活動を行っています。



奈良マラソンの臨時救護の様子

### 安全法指導 赤十字奉仕団

救急法などの指導員資格を有し、健康で安全に暮らすための知識や技術をつたえる講習を普及しています。



講習指導の様子(包帯法)

### 青年 赤十字奉仕団

勤労青年や大学生で組織され、献血の呼びかけや青少年赤十字のサポートなどを行っています。



リーダー養成研修会の様子

### 青少年赤十字 賛助奉仕団

青少年赤十字の指導に当たっていた先生で組織され、青少年赤十字を支えています。



近畿ブロック研修会の様子

### 赤十字防災 ボランティア

災害発生時に、支部の救護活動や被災者支援のための活動を行っています。



災害救護訓練の様子



# 赤十字活動資金にご支援をお願いします



## 社員の名称が変わります

赤十字が行う活動は、皆様からの資金協力とボランティアで支えられています。これまで赤十字の活動を支援していただいている方を「社員」とお呼びしていましたが・・・

平成29年4月から  
**「社員」を「会員」**に  
名称を変更しました。

### 社員

毎年500円以上のご支援で、社員となる意志のある方

### 協力会員

今までと同様に、500円以上を目安として、ご協力いただける方

### 会員

毎年2,000円以上のご支援で、会員となる意志のある方

### 社費

社員からの資金協力

### 会費

会員及び協力会員の方々に、ご協力いただく活動資金

### なぜ？

社員という名称が、株式会社などの社員や日本赤十字社の職員を連想し、わかりにくかったことから、変更いたします。

### どう変わる？

ご支援者の方々は、赤十字会員の一員として、これまでどおり、年に500円以上を目安としたご協力により、日本赤十字社の活動へのご支援をお願いします。

その中で、年2,000円以上のご支援いただける方々は、日本赤十字社の運営に参画する会員として登録させていただき、赤十字事業の活動内容をよりご理解いただけるよう、機関紙「赤十字NEWS」などを送付いたします。

### 活動資金と国内義援金と海外救援金の違い

活動資金…災害時の救護、ボランティアの育成、講習普及事業など赤十字の事業に活用されます。

国内義援金…国内の災害で被災された方々に対し、県・市町村と通じて全額被災者に配分されます。

(被災者へ)

海外救援金…海外の災害や紛争等の被災者に対し、赤十字が行なう救援活動や復興支援事業に活用されます。

(本社へ)

### このほか活動資金にご支援いただく方法として

近年、遺贈による寄付や相続財産の寄付、香典返しに代えての寄付などでもご支援いただいております。

### 「CSR 活動」で「赤十字」を応援してください

赤十字の活動に継続的にご協力いただく法人・団体様(個人は除く)で、社会貢献をお考えの場合は、「赤十字支援マーク」をご利用ください。詳しくは、日本赤十字社奈良県支部総務課まで、お問い合わせください。

～ 赤十字で社会貢献 ～



日本赤十字社

わたしたちは日本赤十字社の活動を支援しています。



日本赤十字社の表彰制度

| 項 目              | 贈与対象内容                               |
|------------------|--------------------------------------|
| 支部長表彰状<br>支部長感謝状 | 活動資金として、一時または累計で10万円以上を納められた個人・法人等   |
| 銀色有功章社員          | 活動資金として、一時または累計で20万円以上を納められた個人・法人等   |
| 金色有功章社員          | 活動資金として、一時または累計で50万円以上を納められた個人・法人等   |
| 日本赤十字社感謝状        | 金色有功章受章後、更に活動資金として50万円以上を納められた個人・法人等 |

国の表彰制度

| 項 目       | 贈与対象内容                                        |
|-----------|-----------------------------------------------|
| 厚生労働大臣感謝状 | 活動資金として、100万円以上を納められた個人<br>300万円以上を納められた法人等   |
| 紺綬褒章      | 活動資金として、500万円以上を納められた個人<br>1,000万円以上を納められた法人等 |



奈良県支部では、5年に一度、「名誉副総裁」のご臨席を賜わり、赤十字大会を開催しています。

・支部創立120周年・有功会設立50周年記念奈良県赤十字大会  
・平成27年11月11日:奈良県文化会館国際ホール

税制上の優遇措置

赤十字の活動資金(会員・協力会員など)にご協力いただいた場合は、特定公益法人への特定寄付金として、寄付金額より2千円を差し引いた金額が、年間所得から控除(寄付金控除)されます。

また、赤十字以外の特定寄付金と合算することができます。  
サラリーマン等で源泉徴収を受けている方は、確定申告をすることで課税対象額が減り、税金の還付を受けることもできます。  
※詳しくは最寄りの税務署などにお問い合わせください。

平成27年度決算

| 収入の部                                   | 決算額(円)      |
|----------------------------------------|-------------|
| 社資収入 (地区区分(市町村)及び支部を通じた個人、法人からの社費、寄付金) | 145,104,521 |
| 補助金及び交付金収入 (日本赤十字社本社からの交付金)            | 3,271,000   |
| 繰入金収入 (住民税控除対象の海外救援金:ネパール地震救援金)        | 9,348,191   |
| 雑収入 (講師派遣収入、講習用教材費収入等)                 | 8,841,408   |
| 前年度繰越金                                 | 8,629,159   |
| 収入合計                                   | 175,194,279 |

| 支出の部                                            | 決算額(円)      |
|-------------------------------------------------|-------------|
| 災害救護事業費 (災害に備えた救護装備費、救援物資整備費、医療救護訓練費、救護看護師養成費等) | 16,559,380  |
| 社会活動費 (救急法等講習普及費、奉仕団及び青少年赤十字育成費、血液事業普及費)        | 34,531,677  |
| 国際活動費 (ケニア地域保健強化事業費:近畿共同事業費)                    | 10,448,429  |
| 国際救援事業費 (ネパール地震救援金)                             | 12,348,191  |
| 指定事業地方振興費 (救護資機材費、救援物資整備費)                      | 11,504,656  |
| 国際活動基金 (ネパール地震救援金)                              | 28,891,639  |
| 地区区分交付金支出 (地区区分(市町村)における赤十字活動費)                 | 10,697,024  |
| 社業振興費 (赤十字思想の普及啓発費、社資・義援金募集費、社員管理費、全国赤十字大会参加費)  | 24,688,179  |
| 積立金支出 (災害発生に備えた積立金等)                            | 996,368     |
| 総務管理費 (支部の事業管理運営費)                              | 19,463,449  |
| 資産取得及び資産管理費 (施設管理費)                             | 170,128,992 |
| 本社送納金支出 (日本赤十字社本社への送納金)                         | 5,065,287   |
| 支出合計                                            |             |
| 次期繰越金                                           |             |

平成29年度予算

| 収入の部       | 予算額(円)      |
|------------|-------------|
| 社資収入       | 167,000,000 |
| 補助金及び交付金収入 | 2,704,000   |
| 繰入金収入      | 1,100,000   |
| 雑収入        | 5,396,000   |
| 前年度繰越金     | 800,000     |
| 収入合計       | 177,000,000 |

| 支出の部        | 予算額(円)      |
|-------------|-------------|
| 災害救護事業費     | 24,490,000  |
| 社会活動費       | 42,780,000  |
| 国際活動費       | 1,100,000   |
| 指定事業地方振興費   | 4,000,000   |
| 地区区分交付金支出   | 16,390,000  |
| 社業振興費       | 27,020,000  |
| 積立金支出       | 5,100,000   |
| 総務管理費       | 26,930,000  |
| 資産取得及び資産管理費 | 2,592,000   |
| 本社送納金支出     | 24,000,000  |
| 予備費         | 2,598,000   |
| 支出合計        | 177,000,000 |